

5・6年 単元名「木原の海はどんな海？～鯨島調査～」（18時間）

1 単元設定の理由

木原小学校は、三原市と尾道市の境にあり、瀬戸内海沿岸の豊かな海と美しい景色、そこに住む温かい人たちによって発展してきた魅力あふれる地域である。この木原沖（木原小学校のすぐ目の前）に2つの島「大鯨島」と「小鯨島」があり、かつてこのあたりにスナメリがすんでいた。今は見られなくなってしまったスナメリを、もう一度この木原に呼びもどしたいと思い、「スナメリプロジェクト」が始まった。

鯨島の水質はどうか、どんな生き物が住んでいるのか、環境はどうかを季節ごとに調査し、集まった情報から課題を設定したり、整理・分析したりしていく。

2 単元目標

専門家の指導のもと、季節ごとに鯨島の環境を調査し、水質や生息している生物、環境等についての情報を収集する。

集めた情報をもとに、整理・分析し、季節ごとの自然環境の違いに気付く。

3 単元の評価基準

設定した視点をもとに、観察・調査をし、情報を収集することができる。（情報の収集）

収集した情報を整理し、比較したり、分析したりすることができる。（整理・分析）

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1 4	鯨島調査に向けて ・昨年度調査（平成27年7月）の振り返りをする。 ・調査のタイムスケジュール、準備物、調査観点の確認 ・パケットテスト（COD）の使用方法的確認 ・海の生き物について図鑑やインターネットを使って調べる。	・保護者へ活動内容や準備物等についての周知を行い、学習の協力をお願いする。 ・各関係機関との連携を図る。
5 8	鯨島調査（春） ・専門家の指導の下、水質調査、生物調査をする。 ・それぞれが調べた情報を共有する。 ・調査結果をまとめる。	・安全確保の徹底を行う。 ・指導者の指示をよく聞くことの徹底を行う。
9 12	鯨島調査（夏） ・専門家の指導の下、水質調査、生物調査をする。 ・それぞれが調べた情報を共有する。 ・調査結果をまとめる。	・安全確保の徹底を行う。 （特に熱中症） ・指導者の指示をよく聞くことの徹底を行う。
13 16	鯨島調査（冬） ・専門家の指導の下、水質調査、生物調査をする。 ・それぞれが調べた情報を共有する。 ・調査結果をまとめる。	・安全確保の徹底を行う。 ・指導者の指示をよく聞くことの徹底を行う。
17 18	調査のまとめ・来年度に向けて ・調査地点を設定する。 ・生き物についての知識を身につける。	・今年度の調査の改善点を見つける。
外部連携 / 教材等 瀬戸内海エコツーリズム協議会 上嶋英機先生、岩井克己先生 三原市漁業協同組合		